

# 久慈工魂

生徒の輝く姿が見える楽しい学校

生徒会執行部の代表3名は、1月17日、野田村役場を訪れ、「赤い羽根共同募金」を寄贈してきました。地域福祉の推進に向けた様々な事業や災害時の活動支援などに、役立てていただきたいと思います。

## 大阪大学オンライン講義

大阪大学によるオンライン講義が、1月18日に実施されました。2回目となるオンライン講義のテーマは、「SDGs（持続可能な開発目標）」です。杉田映理准教授の概論に続いて、3名の大学院生からは、「安全な水とトイレ」や「ジェンダー平等」「パートナーシップ」の3つのゴールについて、それぞれの海外での経験に基づき、説明していただきました。

講義を受講した、建設環境科2年小谷地翔太君は、「グループワークでのアイデアについて、評価していただきました。授業や普段の生活でも、SDGsを意識していきたいです。」と感想を述べていました。



## 高校生溶接技術競技会

岩手県高校生溶接技術競技会は、1月15日に開催されました。県内工業系高校から18名の選手が参加して、ポリテクセンター岩手を会場に、アーク溶接の技能を競いました。本校からは、電子機械科2年熊上拓斗君と同科1年城内龍醒君が出演しています。

溶接には、大きく分類して、アーク溶接とガス溶接がありますが、社会インフラを支える、橋梁・水門・ビルなど鉄骨構造物の製造には、アーク溶接が用いられます。競技会に参加した選手は、将来、ものづくりのエキスパートを目指して技能を磨いています。



## 空撮写真贈呈式

飛行の操縦技術を学んできた小型無人機「ドローン」を使用して、建設環境科3年生が、本校近隣の日向保育所の空撮を行いました。1月12日に保育所を訪問して、空撮した写真を贈呈しました。



## 資格取得:危険物取扱者試験

危険物取扱者は、消防法で定められた危険物を取り扱ったり、管理したりするために必要な資格です。火災や爆発のおそれがある危険物には、ガソリンや灯油などがあり、「甲種」「乙種」「丙種」によって、取り扱える危険物が異なります。

電子機械科と建設環境科では、各々専門分野の資格取得を目指していますが、危険物取扱者は、共通して受験できる国家資格です。半導体などの各種工場や建設現場では危険物が使われており、多くの企業は危険物取扱者を必要としています。